本会・他学会水環境関連行事一覧

| 開催期日 | | 行事 | | 案内記事 掲載巻号 |
|----------------------|--|--|------------------|--------------|
| 202 | 3年 | | | |
| 11月 | 20日 (月)~22日 (水) | 日本膜学会「第45年会」・「膜シンポジウム2023」合同大会 | 東京 | 46巻10号 |
| | 22日 (水) | 令和 5 年度日本水環境学会中部支部研究発表会および講演会 | 愛知 | 46巻10号 |
| | 25日 (土) | 2023年度日本水環境学会東北支部セミナー | 福島 | 本号 |
| | 30日 (木) | 海水資源・環境セミナー2023 | 千葉 | 本号 |
| 12月 | 7日(木),8日(金) | 第36回日本吸着学会研究発表会 | 石川 | 46巻9号 |
| | 10日(日) | 第11回日本マイクロ・ナノバブル学会学術総会 | 東京 | 本号 |
| | 21日 (木) | JDA 協会 FY2023 JDA FORUM | オンライン, 東京 | 本号 |
| 202 | 4年 | | | |
| 1月 | | 第69回日本水環境学会セミナー | +>,= />, | + |
| I /J | 31日(水) | 第09回口本小块块子云でミノー | オンライン | 本号 |
| 3月 | 31日(水) 6日(水)~8日(金) | 第58回日本水環境学会年会 | 福岡 | 本号 本号 |
| | | | | |
| 3月 | 6日(水)~8日(金) | 第58回日本水環境学会年会 WET2024 | 福岡 | |
| 3月 | 6日(水)~8日(金) 20日(土)~21日(日) | 第58回日本水環境学会年会 WET2024 (Water and Environment Technology Conference 2024) | 福岡岡山 | 本号 |
| 3月7月8月 | 6日(水)~8日(金) 20日(土)~21日(日) 11日(日)~15日(木) 11日(水)~13日(金) | 第58回日本水環境学会年会 WET2024 (Water and Environment Technology Conference 2024) IWA World Water Congress & Exhibition, August 2024 | 福岡 岡山 トロント | 本号 |
| 3月 7月 8月 9月 | 6日(水)~8日(金) 20日(土)~21日(日) 11日(日)~15日(木) 11日(水)~13日(金) | 第58回日本水環境学会年会 WET2024 (Water and Environment Technology Conference 2024) IWA World Water Congress & Exhibition, August 2024 | 福岡 岡山 トロント | 本号 |

会員登録データ変更の届け出について(お願い)

住所,所属変更等,本会に登録されているデータに変更のあった場合には,ホームページの会員専用ページ(https://www.jswe.or.jp/member/)よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方,登録アドレスを忘れた方は,メール(member@jswe.or.jp)または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎(4月→3月)の扱いで,退会のお手続きがない場合には,自動的に会員登録が継続となります。なお,学生会員は年度ごとの資格ですので,2022 年度の学生会員は 2023 年 3 月末日に失効しています。

また 2013 年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満 65 歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会 WEB サイト(http://www.jswe.or.jp/joining/index.html)をご覧ください。

本会関連行事

第58回日本水環境学会年会研究発表申し込み案内

第58回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。諾否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

1. 概 要

内 容 一般研究発表

(口頭発表とポスター発表のセッション)

期 日 2024年3月6日(水)~8日(金)3日間

会 場 九州大学伊都キャンパス (対面開催のみ) (〒819-0395 福岡市西区元岡 744)

交 通 博多駅から九大学研都市駅まで鉄道で約30 分,九大学研都市駅から昭和バスで約15分。 https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/

2. 一般研究発表の募集

内 容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果 **応募資格** 本会会員に限ります。

登壇資格 登壇者 (ポスター発表の代表発表者を含む) は正会員 (個人正会員, 団体正会員) および 学生会員とします。入会が承認されると会員 番号が発行されます。仮会員番号のままでは 発表申し込みはできません。

1名が2つ以上の演題に関して登壇者(ポスター発表の代表発表者含む)となることはできません。

申し込み方法

- 1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみです。ホームページ(http://www.jswe.or.jp/)の当該バナーから第58回日本水環境学会年会発表申し込みページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。返信のない場合は、迷惑メールフォルダー等に入っていないことを確認のうえ、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性が大きいのでご注意ください。また、複数のタブまたはウィンドウで発表申し込み画面を開いて操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申し込み画面を複数開かないようにしてください。
- 2) 申し込み期限は 11月 15日(水) 24:00 です。締切日 近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合が あります。早めのお申し込みをお願いします。期限厳 守とし、以降の申し込みは受け付けません。
- 3)発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にある6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は23で始まり最後にSのつく5桁の数字です。学生会員は1年ごとの資格です。

発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力してください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。

- 4) 研究発表内容の分類は別表にしたがってください。 最新の分類にしたがってください。
- 5) 発表形式の希望(口頭発表、ポスター発表、どちらでも可)を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかのみのポスター掲載(コアタイム)になります。
- 6) 発表申し込み・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申し込みを日本語で行い、講演要旨も日本語で作成してください。英語で発表する場合には、発表申し込みを英語で行い、講演要旨も英語で作成してください。
- 7) 申し込み時の発表題目,発表者名,発表要旨は,受付後の変更はできません。申し込み内容は各自でお控えの上,講演集原稿の題目,発表者名は申し込み時と同じにしてください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には,発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ,氏名(フリガナ,漢字)の間違いについても十分ご留意ください。
- 8) 申込内容に間違いがあった場合,使用言語の変更を 希望する場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記 の上,nenkai@jswe.or.jpに速やかにご連絡ください。
- 9) 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

発表形式・発表時間

- 口頭発表はすべて Microsoft PowerPoint での発表となります。詳しくは、ホームページ http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html に掲載の各種要領をご覧ください。
- 2) 口頭発表は1演題につき15分(発表10分,質疑応答5分)を予定しています。
- 3) ポスター発表(一般ポスター発表, クリタ賞2次審査発表, ライオン賞発表) は, 年会開催期日の指定時間内に現地で掲示いただきます。討議時間も予定しています。

年会優秀発表賞 (クリタ賞)

博士前期課程(修士課程)の大学院生による研究発表のうち、とくに優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者によるポスター発表(2次審査)は年会2日目のみに行われます。2次審査は審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。



http://www.jswe.or.jp/event/lectures/classification.html

別表 日本水環境学会年会 研究発表分類表

| | L. gt store - / | 4.5 kg / 3.5 | 77 NGC 3 3 3 3 3 3 3 | | |
|---|--|---|---|--|--|
| | 大分類/ General classification テゴリー/ Category | 中分類/ Middle classification フィールド,メソドロジー/ Field, Methodology | 分類テーマ、キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ、キーワードの例) | Examples of Keywords | |
| | | 1 河川 1 river | 有機物,栄養塩類,懸濁物質,無機 イオン,重金属,内分泌攪乱物質, 農薬、微量化学物質,汚濁負荷,ポ | inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, | |
| | | 2 湖沼 lake | 展来、版量に予切負、行為負刑、イント・ノンポイントソース、溶存 酸素、界面活性剤、変異原性物質、 アオコ、富栄養化、植物ブランクト | | |
| | | 3 海域・沿岸 sea/coast | ン,動物プランクトン,底質,汽水域,干潟,藻類,赤潮,貧栄養化な | | |
| | | 4 湿原 estuary, wetland | ど | | |
| | | 5 湧水 spring, sour water | | | |
| | | 流域・流域管理 6 watershed/watershed management | 水資源,循環利用,地下水,排出負荷測定,排出源推定,排出負荷削減,水質保全など | water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc. | |
| A | 水環境 Water environment | 7 生物·生態系 living thing/ecosystem | 二枚貝, 魚類, 水生植物, 海草, 海 藻, 生物濃縮, 食物連鎖, 藻場, ベ ントス, 微生物生態, 生育場など | bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc. | |
| | | 8 指標 index | 総合指標, 理化学的指標, 生物指標, 健康関連微生物, 環境基準など | composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc. | |
| | | 9 モデル model | 水質, 生態系, 流出, 浄化予測, 汚 濁負荷推定, 水理など | water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc. | |
| | | 10 自浄作用 self-purification | 自然浄化, 浄化機構, 富栄養化, 水理, 水文, 直接浄化など | natural attenuation, remediation mechanism, eutrofication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc. | |
| | | 11 気候変動 climate change | 地球温暖化, 局地的豪雨, 浸水/災 害対策, 渇水, 調査研究など | global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc. | |
| | | 12 生態系サービス ecosystem services | 生態系サービス, 生態系機能, 自然 資本, グリーンインフラなど | ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc. | |
| | | 13 その他 others | | | |
| | 土壌・地下水 Soil/Groundwater | 1 土壤·地下水汚染 soil and groundwater contamination | 土壌、地下水、硝酸、揮発性有機化合物、重金属、ヒ素、水理、モデル、 | soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc. | |
| В | | 2 浄化技術 remediation technology | バイオレメディエーション, 微生物, 活性炭処理など | | |
| | | 3 その他 others | | | |
| | | 1 水源管理 water source management | 水源,有機物,海水淡水化,重金属, 数量化学物質,農薬,濁度,臭気物 質,凝集沈殿,ろ過,吸着,オゾン, | turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV membrane, disinfection, health-related | |
| | 上水・用水・再生水 Drinking water/ | 2 浄水処理・管理 water treatment/management | 紫外線, 膜, 消毒, 健康関連微生物, 消毒副生成物, 給配水, 再増殖, 気 | | |
| С | | 3 水質評価 water quality evaluation | 候変動, リスク評価, リスク管理, 水質事故など | | |
| | Utilize water | 4 再生水 reclaimed water | | | |
| | | 5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment | | | |
| | | 6 その他 others | | | |
| | 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process | 1 活性汚泥法 activated sludge process | 標準活性汚泥法、オキシデーションディッチ法、膜分離活性汚泥法、生 | ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, | |
| D | | 2 生物膜法等 biofilm process | 物ろ過法, 生物活性炭, 固定化担体, グラニュール法, UASB 法, メタン 発酵, 嫌気性消化, 凝集沈殿, ろ過, | | |
| | | 3 嫌気性処理 anaerobic treatment | 吸着, 浮上分離, 膜, オゾン, 塩素, 紫外線, 電解処理, 促進酸化処理, 消毒副生成物, 健康関連微生物, | coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes, | |
| | • | · | • | | |

| D | 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process | 4 物理処理 physical treatment 5 化学処理 chemical treatment 6 消毒 disinfection 7 生物学的窒素処理 biological nitrogen removal 8 人工湿地 constructed wetland | 生物学的窒素処理(硝化, 脱窒, アナモックス等), 直接浄化, 人工湿地など | disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc). direct purification, constructed wetland, etc. | |
|---|--|---|---|--|--|
| | | eonstructed wetland 9 その他 others | | | |
| | | 微量化学物質/難分解性有機物 1 trace chemicals/persistent organic compound | 内分泌攪乱物質, 医薬品, 難分解性 有機物, その他微量化学物質, 生物学的窒素除去, 生物学的リン除去, | endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PPCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, | |
| | 排水処理 | 2 窒素・リン nitrogen/phosphorus | 品析法,ストリッピング法,重金属, 希少金属など | crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc. | |
| E | 除去・回収対象物質 Wastewater | 3 金属類 metals | | | |
| | treatment - materials for removal/recovery | 4 塩分除去 desalting | | | |
| | | 5 高濃度有機物 highly-concentrated organics | | | |
| | | 6 その他 others | | | |
| | 排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type | 下水/生活雑排水/し尿 1 sewage/domestic wastewater/ night soil | 下水道,浄化槽,農集排,コミュニティブラント,コンポストトイレ,鉄鋼業,電子産業,食品産業,醸造業,畜産業など | sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc. | |
| | | 2 工場排水 industrial wastewater | | | |
| F | | 食品産業排水 3 food industrial wastewater/ agricultural wastewater | | | |
| | | 4 その他 others | | | |
| | 排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism | 1 生物処理モデル biological treatment model | 活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR 法、FISH 法など | activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc. | |
| G | | 物理化学的処理モデル 2 physical-chemical treatment model | | | |
| | | 3 遺伝子解析 genetic analysis | | | |
| | meenamom | 4 その他 others | | | |
| | | 1 排水回収 wastewater recovery, | 排水回収, 再生利用, 造水処理など | wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc. | |
| | 排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment -wastewater recovery, Low carbon, other | 省エネ・創エネ 2 energy conservation/energy production | 省エネ・創エネ,温暖化防止,メタン発酵,水素発酵,熱回収,微生物燃料電池など | energy conservation, energy production, prevention of global warming, methane fermentation, hydrogen fermentation, thermal recycle, microbial fuel cell, etc. | |
| Н | | 3 地球温暖化 global warming | | | |
| | | 4 微細藻類 microalgae | | | |
| | | 5 その他 others | | | |
| | 汚泥・廃棄物処理, バイオマス Sludge/Waste treatment | 7 汚泥処理 1 sludge treatment | 嫌気性消化,メタン発酵,下水汚泥, 資源化処理,減容化処理,コンポス | anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, | |
| I | | 2 廃棄物処理 waste treatment | ト,浸出水,畜産廃棄物,評価指標,バイオマスエネルギーなど | leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc. | |
| | | バイオマスエネルギー変換, バ イオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery | | | |



| | | 4 その他 others | | | |
|---|--|--|---|---|--|
| | 毒性・健康影響 Toxicity/Health effects | 1 毒性評価 toxicity assessment | 下水,河川,地下水,湖沼,海域,浸出水,健康関連微生物,細胞毒性, | health-related microorganisms, cytotoxicity mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation ecosystem impact, risk assessment, index organism | |
| т | | 2 生物影響 biological effects | 変異原性,水生生物,生物濃縮,生 態系影響,リスク評価,指標生物, DNA マイクロアレイ,内分泌攪乱 | | |
| J | | 3 健康関連微生物 health-related microorganisms | 作用など | | |
| | | 4 その他 others | | | |
| | | 1 化学分析 chemical analysis | 簡易分析,センサー,内分泌攪乱物 質,金属元素、微量有機化学物質, 健康関連微生物,PCR法,ハイブリ ダイゼーション法,バイオセンサー, 培養細胞,水生生物など | instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass | |
| K | 試験・分析法 | 2 生物学的分析 biological analysis | | spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related | |
| K | Test/Analysis | 3 バイオアッセイ bioassay | | microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc. | |
| | | 4 その他 others | | organism, etc. | |
| | | 1 技術/システム評価 technology/system evaluation | 省資源・省エネルギー,コスト, LCA,二酸化炭素発生対策,気候変 | natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO ₂ emission countermeasure, | |
| | 総合評価・管理 Comprehensive evaluation/ Management | 生態リスク評価/管理 2 ecological risk assessment/ management | | climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc. | |
| L | | 3 環境動態 environmental fate | | | |
| | | 4 維持管理 maintenance | | | |
| | | 5 財政評価 monetary evaluation | | | |
| | | 6 その他 others | | | |
| | 環境教育・国際協力 Environmental education/ International cooperation | 1 環境教育 environmental education | | environment conservation activity, environmenta learning, community involvement, environment plan global environment, cultural exchange, technology | |
| M | | 国際協力・海外調査 2 international cooperation/ overseas research | 術普及など | propagation, etc. | |
| | | 3 その他 others | | | |
| | 水環境文化 Water environment culture | 1 景観,都市設計 landscape/urban planning | と水、親水、行政、ホタル、文化交 | landscape, urban planning, design, life and water water park, government administration, firefly | |
| N | | 2 地域, 暮らし, 歴史, 伝統 region/life/history/tradition | 流など - | cultural exchange, etc. | |
| | | 3 その他 others | | | |
| | 災害とその対応 Disaster and Restoration | 1 放射性物質 radioactive substance | 放射性物質, 挙動, 除去, 分析など | radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc. | |
| 0 | | 2 震災 impact of earthquake | 被害,復旧,自然再生など | damage, restoration, regeneration of nature, etc. | |
| | | 3 水害・洪水・津波 Floods and Tsunami | 防災、水害など | Disaster Prevention, flood damage, etc. | |
| | | 4 その他 others | | | |
| P | 特別企画 Special Project | 1 開催支部企画 project by the host branch | | | |
| | | 2 その他 others | | | |
| Q | A~P以外 Others | 1 その他 others | | | |

注:2023年度に大分類 O の内容の変更があります。選択時にはご留意ください。 複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。

年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)

学部生,高等専門学校生(高専生),短大生によるポスター発表のうち,とくに優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。ポスター発表は年会初日のみに行われます。審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法,審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会 第 58 回年会係〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿 (講演要旨原稿)を作成していただきます。**原稿書式**はホームページの執筆要領 https://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html#guide をご参照ください。

作成方法 原稿枚数は A4 判 1 枚 (図表も含む) とします。 提出方法 学会ホームページの会員専用ページよりご提 出ください。

個人会員(会員専用ページ):

(https://www.jswe.or.jp/member/index.php) 団体会員:

(https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php)

提出期限 2024年1月10日(水)アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。

著 作 権 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に 帰属します。

4. 講演集の電子化について

2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準になりました。講演集の公開日(発行日)は年会開催日の1週間前を予定しています。なお、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定しています。

5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、本誌 12 月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

6. 特別講演のご案内

下記の日程で特別講演を予定しています。

期 日 2024年3月7日(木) 15:15~16:15 (予定)参加費 無料(日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。)

7. セミナー

1) 学生向けセミナー「水環境ビジネスガイダンス」(産官学協力委員会)

水環境に関わる仕事の内容・やりがい等について、第 一線で活躍する技術者などの生の声に触れられるガイダ ンスセミナー

日 時 2024年3月7日(木) 昼休みの時間帯 (予定)

参加費 無料

※詳細は1月号以降の会告, 学会 HP の年会情報にて お知らせします。

2) 男女共同参画推進委員会セミナー(仮)

日 時 2024年3月8日(金) 昼休みの時間帯 **参加費** 無料

※詳細は次号以降,会告,学会 HP の年会情報にてお 知らせします。

8. 懇親会

立食形式での懇親会を予定しています。詳細は12月号 以降の学会誌に掲載予定です。

期 日 2024年3月7日(木) 19:00~20:30

場 所 ソラリア西鉄ホテル福岡

9. 学生向け会員企業・研究機関等就職説明会

年会3日目(2024年3月8日(金)午後(予定))に日本水環境学会の団体会員である企業・研究機関等による 学生向けの就職説明会を開催予定です。

詳細は次号以降の学会誌および学会 HP の年会情報に掲載予定です。

10. 問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会第58回年会係

Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

「年会優秀発表賞(クリタ賞)」候補者の募集

第58回日本水環境学会年会において,博士前期課程 (修士課程)の大学院生を対象とした年会優秀発表賞受賞 候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。 開催方法によっては審査方法,表彰方法に変更がある可 能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し,博士前期課程 (修士課程)の大学院生を対象として,優秀 な研究成果発表を表彰します。

表彰対象者 年会において口頭発表を行う博士前期課程 (修士課程)在学の学生会員に限ります。対 象者以外の申し込みは発表自体をお断りす ることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し 込む時に年会優秀発表賞(クリタ賞)への 応募を選択し、所定の事項を記入の上、送 信してください。

審查方法

1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次 審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。

2次審査 年会2日目にポスター発表を行い,投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

- 1) 1次審査結果は発表申し込み時に登録した E-mail アドレス宛に E-mail により応募者全員に通知します。
- 2) 2次審査結果(受賞者)は、年会2日目午後に行わ



れる表彰式において発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。受賞者以外で1次審査を通過しポスター発表を行った方には、表彰式において参加賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(修了式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く)。

3) 1次審査を通過しポスター発表を行った方全員を懇 親会へ招待予定です。

スケジュール概要(締切以降は受け付けません)

1) 2023年11月15日 応募締め切り

2) 2024年1月10日 講演要旨原稿提出締め切り

3) 2024年2月上旬 1次審査結果の通知

4) 年会 2日目 ポスター発表による2次審査

5) 年会 表彰式 2次審査結果の発表, 受賞者 の表彰と副賞の授与, 参加賞

の授与

付記 年会優秀発表賞 (クリタ賞) 受賞の博士前期課程 (修士課程) 修了者は,国際会議発表助成 (クリタ 賞国際会議発表助成,毎年5月に募集予定)の助 成候補対象 (40歳未満で応募年度の個人正会員ま たは学生会員に限る)となります。

問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会 年会優秀発表賞 (クリタ賞) 係 Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

「年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)」 候補者の募集

第58回日本水環境学会年会において,**学部生**,高等専門学校生(高専生),短大生を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。開催方法によっては審査方法,表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し,**学部生,高専生,** 短大生を対象として優秀なポスター発表を 表彰します。

表彰対象者 年会においてポスター発表を行う大学学部, 高等専門学校,短期大学在学の学生会員に 限ります。対象者以外の申し込みは発表自 体をお断りすることがありますのでご注意 ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し 込む時に年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)への応募を選択し、所定の事項を記 入の上、送信してください。

審 査 方 法 年会初日にポスター発表を行い、投票に基 づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

1)審査結果(受賞者)は、年会2日目昼に受付に掲示して発表します。受賞者には、表彰式において表彰状

のほか副賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(卒業式,体調不良, 法事等を事前に連絡した場合を除く)。

2) 受賞者を懇親会へ招待予定です。

スケジュール概要(締切以降は受け付けません)

1) 2023年11月15日 応募締め切り

2) 2024年1月10日講演要旨原稿提出締め切り3) 年会 初日ポスター発表による審査

4) 年会 2日目昼 審査結果の発表

5) 年会 表彰式 受賞者の表彰と副賞の授与

問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会

年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)係

Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」

JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award

第58回 日本水環境学会年会の助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を 目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する 外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等 の助成を行っています。

2024年3月に九州大学(福岡県福岡市)で開催される 第58回年会での研究発表予定者から,助成の対象者を下 記のとおり募集します。奮ってご応募くだい。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 海外に在住する外国籍の個人会員および国際 連携会員(http://www.jswe.or.jp/joining/ index.html 参照)で、第58回日本水環境学 会年会において研究発表を予定する者

助成内容 年会・懇親会への招待, および年会参加のための渡航費・滞在費の一部助成(一律10万円を予定)。

助成対象 若干名

応募方法 年会の研究発表申し込み手続(2023年11月 15日(水)締切,厳守)を行った後に,下記 の提出書類を学会事務局まで提出すること

提出書類

- 1. 応募者の略歴, 発表題目, 受付番号, 要旨(所定書 式あり, 下記 URL 参照)
- 2. 主な発表論文の別刷り3編 (PDF 可)

所定書式 下記のいずれかからダウンロード

https://www.jswe.or.jp/awards/idea/index.html https://www.jswe.or.jp/eng/awards/idea/index.html

提出期限 2023年11月16日(木)必着

提出先

(公社) 日本水環境学会 水環境国際招聘賞 選考委員会 郵送の場合:〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201号

E-mail の場合: kokusai @ jswe.or.jp (@は半角) **合否通知** 選考結果については, 2023 年 12 月末日まで に応募者に通知する。

第69回日本水環境学会セミナー 上下水道行政の一元化がもたらすもの

厚生労働省が所轄する水道行政について全般的な部分 を国土交通省に、水質基準策定等は環境省に移管する方 針が2022年9月に政府から示されました。2023年5月に は「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の 整備に関する法律」が成立し、国土交通省に設置された 「水道整備・管理行政移管準備チーム」により、2024年 4月の円滑な移管に向けて着々と準備が進められていま す。水道行政の移管は厚生労働省におけるコロナウィル ス感染症等への対応能力の強化を図るために検討された 施策ですが、人口減少が急速に進む状況での経営基盤の 強化や頻発する災害への対応力強化等の水道行政の機能 強化も目的とされています。これまで日本の公衆衛生の 向上に多大な貢献をしてきた水道インフラ。更新時期を 迎えて、水道・下水道を一元管理するという歴史的な行 政の変革となります。本セミナーでは、水道の有識者、お よび行政から専門家をお招きし、水道行政移管に関する 最新情報および今後の展望についてご講演いただきます。

主 催:日本水環境学会

日 時: 2024年1月31日(水) 13:00~17:00 (予定)

場 所: オンライン (Zoom)

参加費:会員 3,000 円, 非会員 5,000 円, 学生 1,000 円 (高校生以下は無料)(税込)

詳細は12月号以降でご案内いたします。

2023 年度 日本水環境学会 東北支部セミナー

主 催 日本水環境学会東北支部

期 日 2023年11月25日(土) 13:30~16:30

場 所 会場:日本大学工学部 70 号館 7044 教室

(福島県郡山市田村町徳定字中河原1)

講演内容 (予定)

講演1「環境省の帰還困難区域等における環境回復に向けた取組」

寺西 制 (環境省 環境再生・資源循環局 環境再生事業担当参事官室)

講演 2「森林エッジでの空間線量率の長期・短期変動と Phits を用いたモデル解析」

原田茂樹(福島大学 食農学類 生産環境学コース) 講演3「林産物の放射性セシウム汚染の実態とその推移」 大橋伸太(国立研究開発法人 森林研究·整備機構 森林総合研究所)

講演 4「福島県における淡水魚と食物網への放射性セシウム移行」

石井弓美子(国立研究開発法人 国立環境研究所 福 島地域協働研究拠点)

講演 5「福島第一原子力発電所処理水放出のための海洋 環境モニタリングとその評価手法」

真田幸尚 (国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構)

参加申込方法

氏名, 所属, 連絡先 (電話番号, E-mail アドレス), 参加 方法 (対面またはリモート) を記載の上, 11月22日 (水) までに E-mail にてお申し込みください。リモートでの参 加希望者には, 折り返し接続先 (Zoom の URL) を返答 いたします。

参加費 無料

詳細 URL http://jswetohoku.web.fc2.com/

参加申込・問い合わせ先

日本大学工学部 中野和典

E-mail: nakano.kazunori@nihon-uac.jp

Tel: 024-956-8719

IWA 関連行事

IWA World Water Congress & Exhibition, August 2024

主 催 The International Water Association (IWA).

期 日 2024年8月11日(日)~8月15日(木)

場 所 the Metro Toronto Convention Centre (Toronto, Canada)

詳細は下記をご覧ください。

https://worldwatercongress.org/

IWA(国際水協会)世界水会議 World Water Congress & Exhibition 2024 Toronto での研究発表に対する渡航費用助成対象者の募集

本学会では、京都会議記念基金をもとに、2024年8月にカナダのトロントで開催される IWA(International Water Association)世界水会議での研究発表予定者に対して渡航費用を助成します。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など、これまで海外での学会への参加が難しかった方々に、是非ともご応募いただき、優秀な研究成果を数多く発表していただきたいと考えています。助成対象となった方には、会議参加後に参加報告書(学会誌に掲載されます)を提出していただきます。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の正会員で, IWA世界水会議で研究発表 (口頭発表, ポスター発表)を予定する者。発 表申込・参加申込等の手続きは本人が行って



ください。

助成内容 会議参加費,会議参加のための渡航費および 滞在費(全額または一部)

応募方法 助成を希望する本人が、次項の書類を提出してください(E-mail 添付可)。受領の連絡が2日以内にない場合には学会事務局へ連絡してください。

提出書類(書式は自由)

- ①応募者の氏名,所属,住所,Tel,Fax, E-mail,本学会での活動内容(年会,シンポジウム,WET,研究委員会,支部等)
- ②本助成を必要とする理由
- ③発表予定の研究内容が判る資料(日本語可)
- ④本渡航費用助成への過去における応募状況
- ⑤発表採択通知

提出期限 2024年2月7日(水)

採否通知 選考結果については、2024年3月4日までに 応募者に通知します。

提出先 〒135-0006 江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

(公社) 日本水環境学会 派遣・招聘委員会

E-mail: kokusai@jswe.or.jp

他学会関連行事 —

海水資源・環境セミナー 2023

主 催 日本海水学会 海水資源・環境研究会

協 賛 日本水環境学会 ほか

期 日 2023年11月30日(木) 13:30-17:10

場 所 千葉工業大学津田沼キャンパス (教室調整中)

プログラム [1] 水素キャリア MgH₂ の可能性(バイオコーク技研株式会社 上杉堅一 氏), [2] 海洋の炭素リザーバー性能向上技術:海洋の応答を考慮した電気透析による海水からの CO₂ 回収技術の一検討(海洋研究開発機構 吉田弘 氏), [3] 海水電解による二酸化炭素回収型の海水資源およびエネルギー回収プロセス(静岡大学 佐野吉彦 氏), [4] 海水資源の回収と用途開発(千葉大学 和嶋隆昌 氏). それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。申し込み方法 弊会 HP からお申し込みください。

参加申込締切 2023 年 11 月 20 日 (月)

参加費 一般 4,000 円, 学生 2,000 円 (定員 70 名)

詳細 URL https://www.swsj.org/research/folder39/kaisuishigenn-seminar2023.html

問い合わせ先

日本海水学会 海水資源・環境研究会 事務局 (邑上) 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂 4-13-20

Tel: 0465-47-3161, E-mail: shigen@swsj.org

JDA 協会 FY2023 JDA FORUM

主 催 NPO 法人 JDA 協会

後 援 日本水環境学会ほか

期 日 2023年12月21日(木) 13:00-17:20

場 所 WEB (Teams) & 対面 (KFC Hall2) *ハイブリット開催

プログラム 世界のカーボン・ニュートラルの動きと海 水淡水化の最新動向 以下詳細は URL をご参照ください。

申込方法 協会 HP(https;//www.japan-desalination.jp) より申し込み

参加申込締切 2023 年 12 月中旬

参加費 会員 (法人または個人)・後援団体会員 10,000 円 非会員 20,000 円, 学生 1,000 円

詳細 URL https://www.japan-desalination.jp/news/

問い合わせ先 NPO 法人 JDA 協会

〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-5 相鉄 KS ビル 6 階・9 階

Tel: 045-287-0706 (リモートワークにより不在)

E-mail: jda.a1@japan-desalination.jp

おしらせ

2023 年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は、水環境関連分野の学術の発展に功績があった、あるいは本会に対しとくに功労があった満70歳以上の会員を、総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できることになっております。

なお,海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては,学会事務局にお問い合わせください。

2023年度「学会賞」、「学術賞」の 受賞候補者の推薦について (募集)

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

- 1. 被推薦資格:本会の会員にして,受賞年度(2023年 度)において満60歳をこえる者
- 2. 提出書類:①被推薦者の氏名,住所,所属,略歴等, ②推薦理由書(2,000字以内),③参考資料等,④推薦者の氏名,住所,所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文,著作,学術的研究成果が とくに優れた会員に贈られます。

- 1. 被推薦資格:本会の会員であること。年齢制限はありません。
- 2. 提出書類:①被推薦者の氏名,住所,所属,略歴等, ②対象とする研究成果,③推薦理由書 (2,000字以内),④参考資料等(論文,著作 の一覧等),⑤推薦者の氏名,住所,所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。 なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、 学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に 整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出を お願いします。

提出期限 2023年11月30日(木)

提出先 (公社) 日本水環境学会「学会賞」,「学術賞」係 E-mail:award@jswe.or.jp

2023 年度「技術賞」および「技術奨励賞」 候補者の推薦について(募集)

本会では、以下に示したような技術賞および技術奨励 賞を設け、対象となる個人または団体を毎年表彰してお ります。受賞者(または団体)は、本学会誌に受賞者(ま たは団体)名とその技術の受賞理由等についての記事が 掲載され広く会員に周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞も しくは技術奨励賞候補者の推薦をお願い申しあげます。 「推薦」は自薦他薦を問いません。選考委員会にて、推薦 内容を十分審議の上、技術賞、技術奨励賞いずれかの相 応性も含めて選考させていただきます。

• 技術賞

水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術(調査内容、方法)の新規性や実績(たとえば処理技術の場合には実機実績等)等を加味して総合的に判断されます。

• 技術奨励賞

水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に授与されます。 選考にあたっては、技術や調査研究の新規性のほか、学 会発表や論文等で発表した成果や調査事例、パイロット 試験結果等を加味して総合的に判断されます。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人 提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会 HPよりダウンロードしてお使いください。また、各書類は pdf ファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

(1) 被推薦者の氏名, 住所, 所属 (団体の場合は名称お

よび代表者名),電話番号,略歴等(連名の場合,被推 薦者の役割分担を明記)

- (2) 対象とする技術または調査研究名(40字以内)
- (3) 推薦理由(①技術内容(調査内容),②開発背景,③従来技術および優位性,④技術賞は実績を記載し,技術奨励賞では実用化への取り組み,または調査研究に関しては期待される社会貢献について記載:2,000字以内)
- (4) 推薦者(氏名, 住所, 所属等)
- (5) 参考資料等(文献,特許,新聞記事等)

提出期間 2023年9月22日(金)~11月17日(金)

提出先 (公社) 日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係 E-mail: award@jswe.or.jp

なお、[参考] として、過去の技術賞および技術奨励賞 受賞テーマー覧および歴代受賞者を掲載した学会 HP の URL を下記に掲載します。

技術賞および技術奨励賞の歴代受賞者

https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/prizewinner.html

「水環境国際活動賞(いであ活動賞)」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞(いであ活動賞)」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成いたします。助成の対象者を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募願います。

なお,この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐 (ご寄付)により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成内容 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1)海外での調査・研究活動、2)海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3)海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会(オンライン含む)の開催等。

助成金額 30万円(上限)

助成期間 2024年4月1日~2025年3月31日 (活動期間が2025年度にわたっても可)

助成対象件数 1件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送(簡易書留)または E-mail (kokusai @jswe.or.jp) で提出してください。応募受付の連絡が 3 日以内にない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類 (書式は自由)

- 応募者の氏名,会員番号,連絡先住所,Tel,Fax, E-mail,所属,略歴,研究業績(主な発表論文リスト や国際的な活動実績)(A4,1ページ程度)
- 活動の内容を示す計画書(目的,計画,期待される成果を含め A4,2ページ程度)



・必要経費の概算書(活動全体にかかる経費(自己資金を含む)と本会からの助成希望金額を明記してください)提出期限 2024年1月12日(金)必着

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

(公社) 日本水環境学会 水環境国際賞選考委員会 (簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください)

E-mail (kokusai@jswe.or.jp) での提出も可(件名に「水環境国際活動賞」と記載してください)

合否通知 選考結果については、2024年2月までに応募者に通知いたします。

その他 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会 へ提出していただきます。

長崎大学総合生産科学域, 助教の公募

募集人員 助教 (テニュアトラック) 1名

所 属 長崎大学総合生産科学域 水環境科学分野

専門分野 水環境科学分野

応募資格

提出先

- 1)博士の学位を有する方、若しくは着任までに博士の学位を取得見込みの方。
- 2) 水環境分野の排水処理,排水再利用分野の大学院教育と最先端の研究が行える方。

それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。

採用予定日 2024年4月1日(月)以降の早い時期

応募方法 電子メール応募

応募期限 2023 年 11 月 30 日 (木)

詳細 URL https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?f n=4&id=D123091890&ln_jor=0&top_btn=1

問い合わせ先

長崎大学 総合生産科学域事務部総務課(人事) 財部 慎平

〒852-8521 長崎市文教町 1-14

Tel: 095-819-2489

日本下水道新技術機構 「2024 年度 下水道新技術研究助成事業」の募集

募集期間 2023 年 10 月 2 日 (月)

~12月18日(月)16:00必着

応募資格 大学, 短期大学, 高等専門学校に属する個人 または研究グループ (年齢不問)

助成件数 数件

助成金額 1件当たり年間200万×2年間(上限)

応募方法 所定の申請書に必要事項を記入し、電子メー

ルにて提出(下記 URL 参照)

決定期間 2024年3月末

詳細 URL https://www.jiwet.or.jp/research-develop ment/kenkyuujosei/grantapplicants

問い合わせ先

公益財団法人 日本下水道新技術機構 研究第一部

担当:阿部・後藤・岩谷

〒162-0811 東京都新宿区水道町 3-1 Tel: 03-5228-6597 FAX: 03-5228-6512

E-mail: grant@jiwet.or.jp

第 44 巻 (A) 11 号 (2021) 特集企画編「COVID-19 タスクフォースの活動成果と 産学官での社会実装に向けた動き」 別刷配布のお知らせ

この度,第44巻(A)11号(2021)の特集企画編「COVID-19タスクフォースの活動成果と産学官での社会実装に向けた動き」の別刷を作成しました。当該企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育・公益的な目的でのご利用を希望する方へ別刷を無償配布いたします。

別刷をご希望の方は①会員番号(非会員の方は非会員とご記入ください)②所属 ③氏名 ④送付先住所 ⑤使用目的(具体的に)⑥希望部数を明記のうえ,日本水環境学会事務局まで電子メール(kikaku@jswe.or.jp)にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお,今後PDF版の公開も予定しています。詳細が決まり次第,ホームページ等でお知らせしますので,ご確認ください。

会員は、特集企画編「COVID-19 タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」(第43巻(A)12号(2020)特集)、「地環研の躍動」(第43巻(A)2号(2020)特集)、「水環境分野で働く若手たち」(第41巻(A)3号(2018)特集)、「水環境分野で働く女性たち」(第36巻(A)10号(2013)特集)にも残部(若干数)がありますので、ご希望があればご連絡ください。

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/

水生生物調査法に関する冊子等のご案内

本会では、環境省水・大気環境局と国土交通省水管理・国土保全局編の水生生物による水質判定に関する冊子と下敷きを販売しております。これらは、小・中学生をはじめ、一般の方々にも身近な自然に接しながら、水辺の環境を理解していただくために大いに役立っております。 水生生物調査法にご関心のある方に、広くご利用いただくようお願いいたします。購入ご希望の方は、下記「購入申込書」にご記入のうえ、E-mail または Fax にてお申し込みください。学会ホームページ(下記 URL または QRコード)からも「購入申込書」をダウンロードできますのでご利用ください。



(https://www.jswe.or.jp/community/booklet/index.html)

記

定価表 (円)

| 品 名 | 価 格 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 川の生きものを調べよう (冊 子) | 188 円(税抜 171 円) |
| 2. 川の生きものを調べよう (下 敷) | 198 円(税抜 180 円) |

送付先1ヶ所あたりの購入数が合計500部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。500部未満は実費をご負担願います。

【申込先】 公益社団法人 日本水環境学会

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201 号 Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352 E-mail: infobio@jswe.or.jp

購入申込書

| 品 名 | 価 格 | 購入数 |
|----------------------|-----------------|-----|
| 1. 川の生きものを調べよう (冊 子) | 188 円(税抜 171 円) | 部 |
| 2. 川の生きものを調べよう (下 敷) | 198 円(税抜 180 円) | 枚 |

送付先 1 ヶ所あたりの購入数が合計 500 部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。 500 部未満は実費をご負担願います。

上記のとおり購入を申し込みます。

(西暦) 年 月 日

| 厂、注 | n | 4 | ٠. | 1 |
|-----|---|---|----|---|
| 〔达 | ソ | フ | J | , |

| 所在地 | | | |
|------|----|-----|-----|
| 名 称 | | | |
| 担当者名 | 電电 | 活 話 | FAX |

支払い方法(いずれかに○印) (銀行振込 または 郵便振替)

- *お振り込みの際の振込手数料はご負担をお願いいたします。
- *請求書の様式,宛先,納入日,その他ご指定がございましたらご記入ください。